

# 馬込文士村 地域に息づく文学とアート

～文化人が集った町をめぐり、文学・芸術発展の軌跡をたどる～

東京都大田区にあった文士たちのゆかりの地、馬込文士村。大正から昭和初期にかけて、川端康成や山本有三、宇野千代など多くの文学者が暮らし、交流しました。石碑や坂道、社寺をめぐりながら文学の歴史を感じられます。さらに今回は日本画を“迫力ある大画面の芸術”に変えた画家・川端龍子の記念館と旧邸宅を訪れ、アートも堪能。文学と美術が好きな方にとって、小さな発見に満ちた魅力的な散策コースです。皆さまのご参加をお待ちしております。

【主な史跡】文士村レリーフー大森テニスクラブコートー大田区立山王会館（馬込文士村資料展示室）ー善慶寺ー山本有三旧居地ー川端康成旧居地ー龍子公園ー大田区龍子記念館「名作展 絢爛と健剛ー川端龍子の作品における装飾性ー」を見学ー尾崎士郎旧居地ー宇野千代旧居地ー白田坂上バス停



馬込文士村の住人



大田区龍子記念館



善慶寺



講師：黒田 涼氏(作家・江戸歩き案内人)

1961年神奈川県生まれ。早稲田大学政経学部卒業。大手新聞社で記者を務めるなど編集関係の仕事を経て、現代東京に残る江戸の姿を探し出すおもしろさに目覚め、2011年に作家として独立。「江戸歩き案内人」を自称し、江戸・東京の史跡散策に関する書籍を著し、実際にガイドも務める。著書に『大軍都 東京』（笠間書院）、『新発見！江戸城を歩く』（祥伝社新書）など多数。「江戸城天守を再建する会」特別顧問。

開催日時

**令和8年5月16日（土） 9：30～12：30**

集合場所

**JR大森駅 中央改札外 9:30 集合**（12:30頃 白田坂上バス停にて解散予定）

※大森駅のトイレは中央改札内、ホームの中央付近にあります。

募集人数

20名

参加費

2,000円（施設入館料・資料代・保険料・イヤホンガイドレンタル料等）

締切日

**令和8年5月12日（火）**（申込は先着順で、定員となり次第締切と致します。）

申込方法

当財団ホームページ（<https://www.jrtf.or.jp/long-life-education/#history>）よりお申し込みください。

※お申込みされた個人情報、教室の運営及び当財団の各種資料をお送りするために使用し、それ以外に使用することはありません。

※お申込み後のキャンセルはお受けしかねますので予めご承知おきください。

その他

行程中、靴を脱いでご見学頂く箇所がございます。脱着しやすい靴でご参加ください。マスク着用は個人のご判断に委ねます。

※雨天(小雨)決行です。なお、荒天等により中止する場合がございます。

※当日、行程地図を配布いたします。行程内容は諸事情により変更することもございます。



問合せ先 〒108-0075 東京都港区港南 2-1-95 JR東海品川ビルB棟5階

公益財団法人 JR東海文化財団 TEL:03-6716-7217 (9:00～17:30 月～金)